

出前福祉共育講座利用の手引き 〔平成24年度版〕

宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター

～はじめに～

少子高齢化や家族形態の変化、個人の価値観の多様化などにより、人と人との関係性が希薄化し、様々な社会問題を引き起こしています。

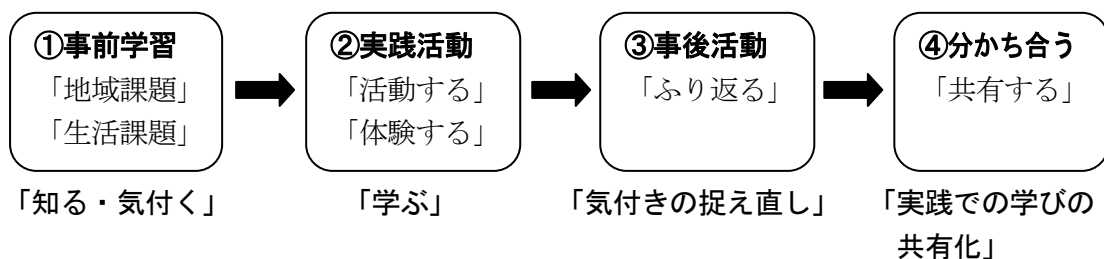
全ての人々が、住み慣れた地域で、安心して、笑顔で生活できる福祉のまちづくりのためには、地域で生活する全ての人々が、「共に学び、共に育っていくための福祉共育」を推進することが重要です。

お互いを「支えあい、助けあう」福祉の心を育むためには、体験を「非日常的な体験」ではなく「日常的な体験」として行い、地域で生活する仲間として捉えるための視点を養うことが大切です。

宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、「学校」「地域」「企業」など全ての市民の方を対象に、福祉について理解していただくことを目的に、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力により、出前福祉共育講座を実施しています。

(1) 講座を利用される際の留意点

■実施目的の設定と、過程（プロセス）が重要です。



☆添付の「調べ学習（事前学習）シート」「体験学習シート」「ふりかえり（事後学習）シート」をご活用ください。

「障がいがあっても、自分でできることがある」「支援が必要な時と、必要でない時がある」ことに気づくための講座です。

「できないこと」「困っていること」を体験することだけが目的ではありません。

(2) 時間的余裕をもってお申込ください。

①実施希望日の2ヵ月前にお申込ください。

講師やアシスタントは、それぞれ仕事や家庭のあるボランティアです。講師やアシスタントの調整には時間がかかります。（ご希望の日時にお受けできない場合もあります。）

②実施方法などは、事前にご相談ください。

(3) 使用する機材について

講座の際に使用する機材は、ボランティアセンターで貸出しています。特に、車いす等の運搬の際には、ご協力をお願いします

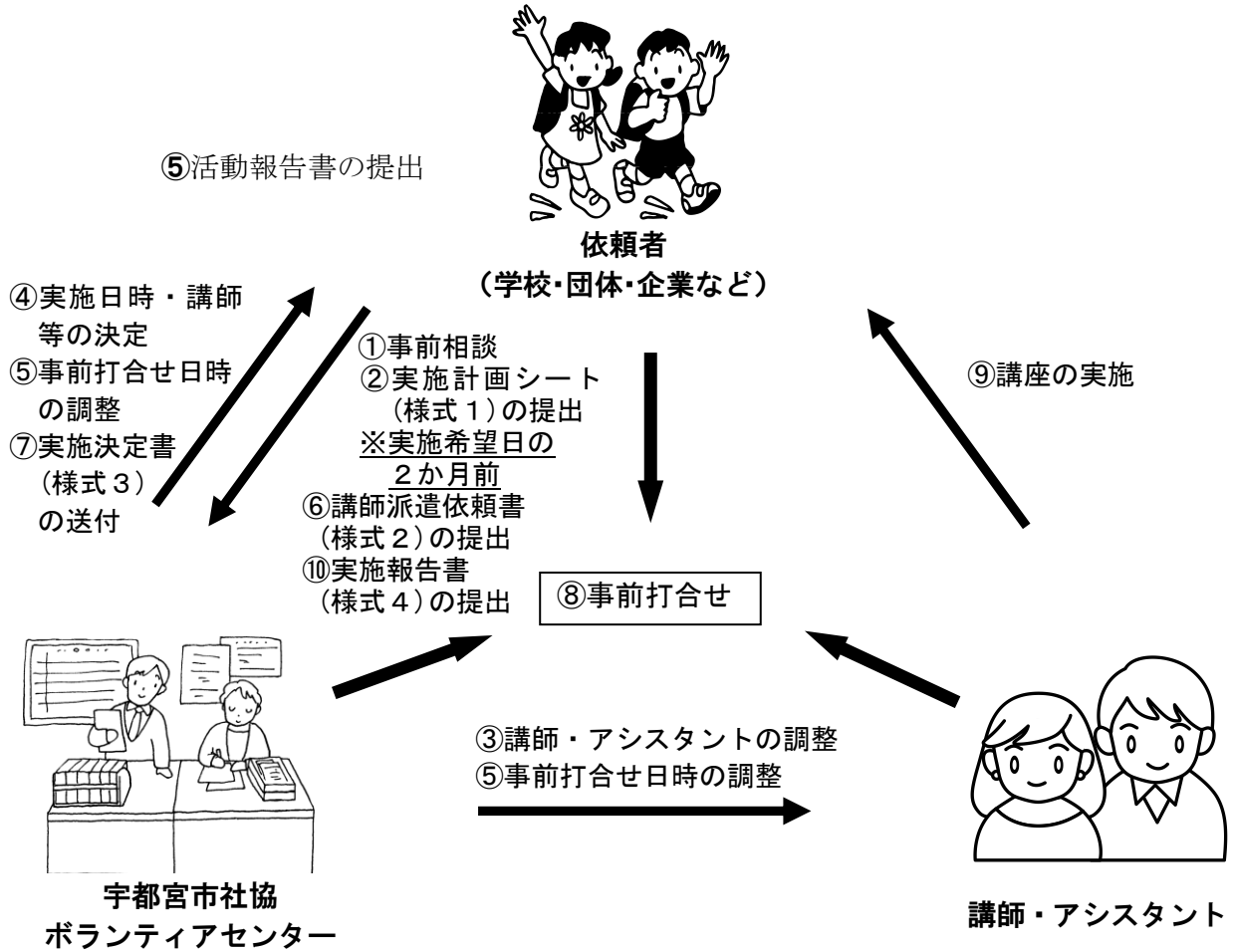
(4) 講師・アシスタントの交通費のご負担をお願いします。

講師・アシスタントの負担を軽減し、継続的に活動を続けていただくためにも、ご理解をお願いします。（※講座の利用料は無料です。）

<お問い合わせ>

宇都宮市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒320-0806 宇都宮市中央 1-1-15（市総合福祉センター 8階）
電話：028-636-1285 FAX：028-634-2870
メール：miya-vc@ap.wakwak.com

出前福祉共育講座 実施までの流れ



※「★印」は、依頼者(学校・地域・団体)にお願いする事項です。

| | |
|---------------|--|
| ★①事前相談(電話等) | 実施方法な希望の内容などについて、事前にご相談ください。 ※実施希望日の2か月前までにご相談ください。 |
| ★②書類の提出 | 相談の後、実施計画シート(様式1)と会場見取図をお送りください。 |
| ③講師・アシスタントの調整 | 希望内容に沿った講師・アシスタントを調整します。 |
| ④実施日時等の決定 | 実施日時と担当する講師・アシスタント等を連絡します。 |
| ⑤事前打合せ日時の調整 | 実施前に行う「事前打合せ」の日時を調整します。 |
| ★⑥書類の提出 | 講師派遣依頼書(様式2)をお送りください。 |
| ⑦実施決定書の送付 | 実施日や講師等の実施決定書(様式3)をお送りします。 |
| ★⑧事前打合せ | 講座の目的、実施内容などについて、「依頼者・講師・アシスタント・ボランティアセンター」で打合せを行います。 |
| ⑨講座の実施 | 事前に打合せた内容で、講座を実施します。 |
| ★⑩書類の提出 | 実施報告書(様式4)を提出してください。 |

出前福祉共育講座プログラム（例）

※実施するプログラムについては、事前にご相談ください。

※時間・人数等は目安です。

（１）視覚障がいの理解

| | |
|-------------|---|
| 1回あたりの目安時間 | 60分程度 |
| 1回あたりの人数 | 30人～40人 |
| 講師・アシスタント人数 | 視覚障がい者 1名 ボランティア 1名 |
| 実施内容（例） | <ul style="list-style-type: none"> ■講話 <ul style="list-style-type: none"> 『見えないってどんなこと？』 『日常生活での工夫』 『盲導犬の育成について』 など ■日常生活グッズの紹介 ■点字のある物に触れる ■点字を書いてみる ■アイマスクを付けて歩いてみる ■視覚障がい者への質問 など <p>【点字用紙購入先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター |

（２）聴覚障がいの理解

| | |
|------------|--|
| 1回あたりの目安時間 | 60分程度 |
| 1回あたりの人数 | 30人～40人 |
| 講師・手話通訳者 | 聴覚障がい者 1名 手話通訳者 1名 |
| 実施内容（例） | <ul style="list-style-type: none"> ■講話 <ul style="list-style-type: none"> 『聞こえないってどんなこと？』 『日常生活での工夫』 など ■ジェスチャーゲーム ■手話を学ぼう ■聴覚障がい者への質問 など |

(3) 身体障がい者の理解

| | |
|------------|--|
| 1回あたりの目安時間 | 60分程度 |
| 1回あたりの人数 | 30人～40人 |
| 講師・アシスタント | 身体障がい者 1名 ボランティア 1名 |
| 実施内容（例） | ■講話 『身体障がいってどんなこと？』 『日常生活での工夫』 など ■車椅子介助の方法 ■車椅子スポーツ（車いすリレーなど） ■身体障がい者への質問 など |

(4) ボランティアについて

| | |
|------------|--------------------------|
| 1回あたりの目安時間 | 60分程度 |
| 1回あたりの人数 | 30人～40人 |
| 講師・アシスタント | 職員 1名 |
| 実施内容（例） | ■講話 『ボランティア活動について』 など |